

注3

大学番号：公立017

[令和2年度設置]

計画の区分： 学部の設置

注1

認可

福知山公立大学 情報学部 情報学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

公立大学法人福知山公立大学
令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学務・学生支援グループ

職名・氏名 グループマネージャー うち 田 晩 穂

電話番号 0773-24-7100

（夜間）

FAX 0773-24-7170

e-mail junbishitsu@fukuchiyama.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

情報学部

＜情報学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	11
6. 附帯事項等に対する履行状況等	23
7. その他全般的事項	24

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

公立大学法人福知山公立大学

(2) 大 学 名

福知山公立大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒620-0886

京都府福知山市字堀3370

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(イグチ カズキ) 井口 和起 (平成28年4月)		
学 長	(イグチ カズキ) 井口 和起 (平成28年4月)		
学 部 長	(ニシダ トヨアキ) 西田 豊明 (令和2年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
令和2年度に報告する内容 → (2)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
情報学部 情報学科 学士(情報学)	工学関係	4年	100人	— 年次人	400人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和○年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から 報告年度まで の平均入学定 員超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	100人 (ー) [ー]	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1.08倍	ー	
志願者数	(233) [ー]	(ー) [ー]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
受験者数	(177) [ー]	(ー) [ー]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
合格者数	(123) [ー]	(ー) [ー]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
B 入学者数	(108) [ー]	(ー) [ー]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
入学定員超過率 B/A	1.08												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	108 [－] (－)		
2 年次			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3 年次					[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4 年次							[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計			[] ()	[] ()			[] ()	[] ()	108 [－] (－)		

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
平成28年度	人	人	平成28年度	人	人	
平成29年度	人	人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
平成30年度	人	人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	108 人	0 人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
- (記入項目例) ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
- ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{108} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<情報学部 情報学科>

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通 教育 科目	外国語科目群	English I	1前	1								2	
		English II	1後	1								2	
		English III	2前	1								2	
		English IV	2後	1								2	
		TOEIC I	3前		1							1	
		TOEIC II	3後		1							1	
		中国語 I	1前		1							2	
		中国語 II	1後		1							2	
		中国語 III	2前		1							1	
		中国語 IV	2後		1							1	
		異文化コミュニケーション	1後		1							1	
	小計（11科目）		—	4	7		0	0	0	0	0	6	
	一般教養	人文系	哲学	1後		2							1
			論理学	2後		2							1
			心理学	2前		2							1
			歴史学	1前		2							1
			地理学	1後		2							1
			教育学	1前		2							1
			文化人類学	1後		2							1
			多文化共生論	1前		2							1
			小計（8科目）		—	0	16		0	0	0	0	0
		社会系	法学概論	1後		2							1
			日本国憲法	1前		2							1
			民法	2前		2							1
			商法	2後		2							1
			人権論	1前		2							1
			経営学入門	1前		2							1
			経済学入門	1後		2		1					
			国際関係論	1後		2							1
	小計（8科目）		—	0	16		1	0	0	0	0	4	
	自然系	数学基礎Ⅰ＊	1前		2				1				
		数学基礎Ⅱ＊	1後		2				1				
		線形代数基礎＊	1前		2			1					
		微分積分基礎＊	1前		2			1					
		線形代数＊	2後		2			1					
		微分積分＊	2後		2			1					
		多変量解析＊	2前		2		1	1					
		線形計画法＊	2前		2				1				
		生物学	1前		2							1	
		健康学	2前		2							1	
		環境学	1後		2							1	
		栄養学	1後		2							1	
		体育実技Ⅰ	1前		1							1	
		体育実技Ⅱ	1後		1							1	
		小計（14科目）		—	0	26		1	2	1	0	0	4

【令和2年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
共 通 教 育 科 目	外国語科目群	English I	1前	1								2	
		English II	1後	1								2	
		English III	2前	1								2	
		English IV	2後	1								2	
		TOEIC I	3前		1							1	
		TOEIC II	3後		1							1	
		中国語 I	1前		1							2	
		中国語 II	1後		1							2	
		中国語 III	2前		1							1	
		中国語 IV	2後		1							1	
		異文化コミュニケーション	1後		1							1	
	小計 (11科目)		—	4	7		0	0	0	0	0	6	
	人文系	哲学	1後		2							1	
		論理学	2後		2							1	
		心理学	2前		2							1	
		歴史学	1前		2							1	
		地理学	1後		2							1	
		教育学	1前		2							1	
		文化人類学	1後		2							1	
		多文化共生論	1前		2							1	
	小計 (8科目)		—	0	16		0	0	0	0	0	8	
	社会系	法学概論	1後		2							1	
		日本国憲法	1前		2							1	
		民法	2前		2							1	
		商法	2後		2							1	
		人権論	1前		2							1	
		経営学入門	1前		2							1	
		経済学入門	1後		2		1						
		国際関係論	1後		2							1	
	小計 (8科目)		—	0	16		1	0	0	0	0	4	
	自然系	数学基礎Ⅰ*	1前		2					1			
		数学基礎Ⅱ*	1後		2					1			
		線形代数基礎*	1前		2				1				
		微分積分基礎*	1前		2				1				
		線形代数*	2後		2				1				
		微分積分*	2後		2				1				
		多変量解析*	2前		2		1	1					
		線形計画法*	2前		2					1			
		生物学	1前		2								1
		健康学	2前		2								1
		環境学	1後		2								1
		栄養学	1後		2								1
		体育実技Ⅰ	1前		1								1
		体育実技Ⅱ	1後		1								1
	小計 (14科目)		—	0	26		1	2	1	0	0	4	

【認可時又は届出時】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置				兼任・ 兼担		
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
共通 教育 科目	通	地域理解科目	地域文化論	1前	2							1	
			地域情報学Ⅰ	1前	2		1						
			地域情報学Ⅱ	1後	2		1						
			行政学入門	1後	2							1	
			地域資源論	1前	2							1	
			観光総論	2前	2							1	
			地域ベンチャー育成論	2後	2							1	
			地域産業論	2前	2							1	
			地域防災論	2後	2							1	
			観光情報学	3後	2		1						
			地域福祉論	3後	2							2	
	小計（22科目）	社会保障論	1後	2								2	
		持続可能な社会論	2前	2								1	
		社会福祉論	2前	2								1	
		社会調査論	2前	2								1	
		統計学	1前	2		1							
		情報リテラシー	1後	2			1						
		データサイエンス入門	1前	2			1						
		経営情報システム論	2後	2								1	
		IT産業論	3前	2								1	
		知的財産論	3前	2								1	
		金融論	3前	2		1							
		小計（22科目）	—	4	40	4	2	0	0	0	0	13	
専門 教育 科目	P B L	IT実習Ⅰ	1前	1			3	1					
		IT実習Ⅱ	1後	1				3	1				
		IT実習Ⅲ	2前	1			3	1	1				
		IT実習Ⅳ	2後	1			1	1	2				
		地域情報PBL入門	1	2			7	6	4				
		地域情報PBL基礎	2	2			7	6	4				
		地域情報PBL	3	4			7	6	4				
		地域情報プロジェクト	4	8			7	6	4				
		インターンシップ実習Ⅰ	3		1		1						
		インターンシップ実習Ⅱ	3		1		1						
		小計（10科目）	—	20	2	7	6	4	0	0	0	—	
	情報専門基礎	コンピュータプログラミングⅠ	1前	2			1		1				
		コンピュータプログラミングⅡ	1後	2			1		1				
		インターネット	1前	2					1				
		情報学アカデミックスキル	2後		1		1						
		科学技術コミュニケーション	3後		1		1						
		小計（5科目）	—	6	2	3	0	2	0	0	0	—	
		データサイエンスストラック	実践系	サービスエンジニアリング	1・2前	2		1					
				オープンデータ技術	1・2後	2		1					
				データ理解	1・2前	2			1				
				データマーケティング	1・2後	2							1
			理論系	データ解析ツール	2・3後	2		1	1				
				基礎データ解析	2・3後	2		1	1				
統計的モデルを用いたシミュレーション	2・3前			2			1						
データマイニング	3・4前			2		1							
統計解析	3・4後			2			1						
品質管理	3・4前			2				1					
統計データモデリング	3・4後	2			1								
データ分析と意思決定	3・4後	2		1									
小計（12科目）	—	0	24	4	2	1	0	0	0	—			

【令和2年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	全学共通科目群	地域理解科目	地域文化論	1前		2							1	
			地域情報学Ⅰ	1前		2		1						
			地域情報学Ⅱ	1後		2		1						
			行政学入門	1後		2							1	
			地域資源論	1前		2							1	
			観光総論	2前		2							1	
			地域ベンチャー育成論	2後		2							1	
			地域産業論	2前		2							1	
			地域防災論	2後		2							1	
			観光情報学	3後		2		1						
			地域福祉論	3後		2							2	
		社会保障論	1後		2							1		
		持続可能な社会論	2前	2								1		
		社会福祉論	2前		2							1		
		社会調査論	2前		2							1		
		統計学	1前		2		1							
		情報リテラシー	1後	2				1						
		データサイエンス入門	1前		2			1						
		経営情報システム論	2後		2							1		
		IT産業論	3前		2							1		
		知的財産論	3前		2							1		
		金融論	3前		2		1							
		小計（22科目）	—	4	40		4	2	0	0	0	13		
専門教育科目	PBL	IT実習Ⅰ	1前	1			2	1				1		
		IT実習Ⅱ	1後	1				3	1					
		IT実習Ⅲ	2前	1			3	1	1					
		IT実習Ⅳ	2後	1			1	1	2					
		地域情報PBL入門	1	2			6	6	4			1		
		地域情報PBL基礎	2	2			7	6	4					
		地域情報PBL	3	4			7	6	4					
		地域情報プロジェクト	4	8			7	6	4					
		インターンシップ実習Ⅰ	3		1		1							
		インターンシップ実習Ⅱ	3		1		1							
		小計（10科目）	—	20	2		6	6	4	0	0	—		
		情報専門基礎	コンピュータプログラミングⅠ	1前	2			1		1				
			コンピュータプログラミングⅡ	1後	2			1		1				
			インターネット	1前	2					1				
			情報学アカデミックスキル	2後		1		1						
			科学技術コミュニケーション	3後		1		1						
			小計（5科目）	—	6	2		3	0	2	0	0	—	
			データサイエンストラック	実践系	サービスエンジニアリング	1・2前		2		1				
		オープンデータ技術			1・2後		2			1				
	データ理解	1・2前				2				1				
	データマーケティング	1・2後				2							1	
	基盤系	データ解析ツール		2・3後		2		1	1					
		基礎データ解析		2・3後		2		1	1					
		統計的モデルを用いたシミュレーション		2・3前		2				1				
		小計（4科目）		—										
	理論系	データマイニング		3・4前		2		1						
		統計解析		3・4後		2				1				
		品質管理		3・4前		2					1			
		統計データモデリング		3・4後		2				1				
		データ分析と意思決定		3・4後		2		1						
	小計（12科目）	—	0	24		4	2	1	0	0	—			

【認可時又は届出時】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担			
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門 教育 科目	専門 科目 群	実践系	地理情報システム	2・3前	2		1								
			情報ネットワーク	1・2後	2			1							
			組込みシステム	2・3前	2			1							
		基盤系	情報セキュリティ	2・3前	2			1							
			計算機アーキテクチャ	1・2前	2			1							
			データベースシステム	1・2後	2			1							
			オペレーティングシステム	1・2後	2				1			1			
			分散システム	2・3後	2				1						
			プログラミング言語処理系	2・3後	2							1			
		理論系	信号情報処理	3・4前	2		1	1							
			数値解析	3・4後	2				1						
			アルゴリズム論	3・4後	2		1								
			グラフ理論	3・4前	2				1			1			
			論理設計	3・4前	2			1							
			計算理論	3・4後	2		1								
			情報符号理論	3・4後	2		1								
	小計 (16科目)	—	0	32		4	3	3	0	0	1				
	人間・社会情報学 トラック	実践系	人工知能	1・2前	2		1								
			IoT	1・2後	2			1							
			エンタテインメント情報学	1・2前	2		1								
			メディア情報学	1・2後	2			1				1			
		ゲーム情報学	1・2後	2				1							
		基盤系	情報システム	2・3後	2		1								
			ヒューマンインタフェース	2・3後	2		1								
			機械学習システム	2・3前	2		1								
		理論系	パターン認識と機械学習	3・4前	2		1		1						
			画像情報処理	3・4前	2		1								
			音情報処理	3・4後	2			1							
			自然言語処理	3・4後	2		1								
			小計 (12科目)	—	0	24		4	2	2	0	0	1		
		合計 (118科目)				—	34	189		8	6	4	0	0	
		卒業要件及び履修方法													
必修科目34単位、共通教育科目の外国語科目群の選択科目から2単位、一般教養科目群人文系の選択科目から6単位、社会系の選択科目から6単位、自然系の選択科目から6単位(ただし、*の科目から4単位を必ず修得すること)と人文系・社会系・自然系の一般教養科目群からさらに4単位、全学共通科目群の選択科目から18単位(地域理解科目から10単位を含む)、専門科目群の選択科目から48単位(同一トラックの実践系、基盤系、理論系からそれぞれ4単位を含む)を修得し、それ以外に共通教育科目および専門教育科目の中から4単位を修得すること。															

【令和2年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専門 教育 科目	ICT トラ ック	実践系	地理情報システム	2・3前	2		1						
			情報ネットワーク	1・2後	2			1					
			組込みシステム	2・3前	2			1					
		基盤系	情報セキュリティ	2・3前	2			1					
			計算機アーキテクチャ	1・2前	2			1					
			データベースシステム	1・2後	2			1					
			オペレーティングシステム	1・2後	2				1			1	
			分散システム	2・3後	2				1				
			プログラミング言語処理系	2・3後	2							1	
		理論系	信号情報処理	3・4前	2		1	1					
			数値解析	3・4後	2					1			
			アルゴリズム論	3・4後	2		1						
	グラフ理論		3・4前	2				1			1		
	論理設計		3・4前	2			1						
	計算理論		3・4後	2		1							
	人間・社会情報学 トラ ック	実践系	情報符号理論	3・4後	2		1						
			小計（16科目）	—	0	32		4	3	3	0	0	1
			基盤系	人工知能	1・2前	2		1					
				IoT	1・2後	2			1				
		エンタテインメント情報学		1・2前	2		1						
		メディア情報学		1・2後	2			1				1	
		ゲーム情報学	1・2後	2				1					
		理論系	情報システム	2・3前	2		1						
			ヒューマンインタフェース	2・3後	2			1					
			機械学習システム	2・3前	2		1						
	パターン認識と機械学習		3・4前	2		1		1					
	画像情報処理		3・4前	2		1							
	音情報処理		3・4後	2			1						
	合計(118科目)			—	34	189		7	6	4	0	0	
	卒業要件及び履修方法												
	必修科目34単位、共通教育科目の外国語科目群の選択科目から2単位、一般教養科目群人文系の選択科目から6単位、社会系の選択科目から6単位、自然系の選択科目から6単位(ただし、*の科目から4単位を必ず修得すること)と人文系・社会系・自然系の一般教養科目群からさらに4単位、全学共通科目群の選択科目から18単位(地域理解科目から10単位を含む)、専門科目群の選択科目から48単位(同一トラックの実践系、基盤系、理論系からそれぞれ4単位を含む)を修得し、それ以外に共通教育科目および専門教育科目の中から4単位を修得すること。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために**未開講となった科目**についても**科目名の後ろに「(未開講)」**として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- (1) ①授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

・教育効果の向上を図るため、「文化人類学」の配当年次を「1後」から「1前」に変更
・教育内容の充実のため、「社会保障論」を兼任教員によるオムニバスから単独での兼任教員の担当に変更のため、「社会保障論」の兼任・兼担教員数を「2」から「1」に変更
・申請書に記載の通り、令和3年度着任予定教授が、令和2年度は兼任教員として「IT実習Ⅰ」を担当するため、「IT実習Ⅰ」の教授数を「3」から「2」に変更
・申請書に記載の通り、令和3年度着任予定教授が、令和2年度は兼任教員として「地域情報PBL入門」を担当するため、「地域情報PBL入門」の教授数を「7」から「6」に変更

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
17 科目	101 科目	0 科目	118 科目	17 科目	101 科目	0 科目	118 科目	
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	体育実技Ⅰ	1	1	共通教育	選択	コロナウィルス問題で対面授業ができないため
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

コロナウィルス問題で4月23日に前学期の全ての授業を遠隔授業で行うことを決定した。遠隔授業を行うにあたって、全ての授業について教育内容が遠隔授業として進めることが妥当であるかどうか点検した。その結果、「体育実技Ⅰ」については教育内容が遠隔授業で行うことのできないものであると判断し、令和2年度は未開講とした。そのことは、学生には連絡用ポータルサイトなどを通じて周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{118} = \boxed{0.84} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	21,006.35㎡	－ ㎡	－ ㎡	21,006.35㎡				
	運動場用地	8,764.78㎡	－ ㎡	－ ㎡	8,764.78㎡				
	小 計	29,771.13㎡	－ ㎡	－ ㎡	29,771.13㎡				
	そ の 他	－ ㎡	－ ㎡	－ ㎡	－ ㎡				
	合 計	29,771.13㎡	－ ㎡	－ ㎡	29,771.13㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
		14,111.39㎡ (14,111.39㎡)	－ ㎡ (－ ㎡)	－ ㎡ (－ ㎡)	14,111.39㎡ (14,111.39㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
		10室	16室	4室	5室 (補助職員 一人)	0室 (補助職員 一人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		情報学部情報学科			48 室				
(5)図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
	情報学部情報学科	100,000 [3,955] 80,064 [2,474] (78,604 [3,095])	1,339 [44] (1,070 [38]) (1,053 [35])	6 [3] (5 [2]) (1 [0])	1,666 (1,623) (1,616)	0 (0) (0)	0 (0) (0)		
	計	100,000 [3,955] 80,064 [2,474] (78,604 [3,095])	1,339 [44] (1,070 [38]) (1,053 [35])	6 [3] (5 [2]) (1 [0])	1,666 (1,623) (1,616)	0 (0) (0)	0 (0) (0)		
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
		1,502㎡		126		108,210			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		－ ㎡		－		－			
(8)経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費には、電子ジャーナル、データベース経費を含む。
		教員 1 人当り研究費等	1,000千円	1,000千円	図書購入費	13,830千円 15,530千円	10,830千円	4,300千円	
		共 同 研 究 費 等	2,500千円	2,500千円	設備購入費	136,620千円 50,000千円	10,000千円	10,000千円	
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		576千円	576千円	576千円	576千円	一千円	一千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		運営費交付金、寄付金、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	福知山公立大学										備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	定員変更 (△20)
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
地域経営学部						1.09	1.04			京都府福知山市	
地域経営学科	4	75	3年次 5	370	学士 (地域経営学)	1.08	1.05	令和2	平成12	字堀3370	
医療福祉経営学科	4	25	2	104	学士 (地域経営学)	1.10	1.00	－	平成12		
情報学部											
情報学科	4	100	－	400	学士 (情報学)	1.08	1.08		令和2		
大学全体	－	200	7	574	－	－	－	－	－	－	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<情報学部 情報学科>

(1) ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	西田 豊明 ＜令和2年4月＞ 工学博士
		地域情報学Ⅰ 地域情報学Ⅱ IT実習Ⅲ 地域情報PBL入門 地域情報PBL基礎 地域情報PBL 地域情報プロジェクト インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 計算理論 情報符号理論 人工知能
専	教授	田中 克己 ＜令和2年4月＞ 工学博士
		IT実習Ⅰ 地域情報PBL入門 地域情報PBL基礎 地域情報PBL 地域情報プロジェクト オープンデータ技術 地理情報システム
専	教授	齋藤 達弘 ＜令和2年4月＞ 博士（経済学）
		経済学入門 金融論
専	教授	池野 英利 ＜令和3年4月＞ 博士（工学）
		多変量解析 IT実習Ⅰ 地域情報PBL入門 地域情報PBL基礎 地域情報PBL 地域情報プロジェクト データ解析ツール 基礎データ解析 信号情報処理
兼任	講師	池野 英利 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		IT実習Ⅰ 地域情報PBL入門

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	西田 豊明 ＜令和2年4月＞ 工学博士
		地域情報学Ⅰ 地域情報学Ⅱ IT実習Ⅲ 地域情報PBL入門 地域情報PBL基礎 地域情報PBL 地域情報プロジェクト インターンシップ実習Ⅰ インターンシップ実習Ⅱ 計算理論 情報符号理論 人工知能
専	教授	田中 克己 ＜令和2年4月＞ 工学博士
		IT実習Ⅰ 地域情報PBL入門 地域情報PBL基礎 地域情報PBL 地域情報プロジェクト オープンデータ技術 地理情報システム
専	教授	齋藤 達弘 ＜令和2年4月＞ 博士（経済学）
		経済学入門 金融論
専	教授	池野 英利 ＜令和3年4月＞ 博士（工学）
		多変量解析 IT実習Ⅰ 地域情報PBL入門 地域情報PBL基礎 地域情報PBL 地域情報プロジェクト データ解析ツール 基礎データ解析 信号情報処理
兼任	講師	池野 英利 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		IT実習Ⅰ 地域情報PBL入門

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山本 吉伸 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		観光情報学 IT実習Ⅰ 地域情報PBL入門 地域情報PBL基礎 地域情報PBL 地域情報プロジェクト サービスエンジニアリング データ分析と意思決定
専	教授	松山 江里 ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）
		IT実習Ⅲ 地域情報PBL入門 地域情報PBL基礎 地域情報PBL 地域情報プロジェクト 情報学アカデミックスキル 科学技術コミュニケーション データマイニング 画像情報処理
専	教授	倉本 到 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		統計学 IT実習Ⅳ 地域情報PBL入門 地域情報PBL基礎 地域情報PBL 地域情報プロジェクト コンピュータプログラミングⅡ アルゴリズム論 エンタテインメント情報学 ヒューマンインタフェース
専	教授	黄(黄) 宏軒 ＜令和2年4月＞ 博士（情報学）
		IT実習Ⅲ 地域情報PBL入門 地域情報PBL基礎 地域情報PBL 地域情報プロジェクト コンピュータプログラミングⅠ 情報システム 機械学習システム パターン認識と機械学習 自然言語処理
専	准教授	畠中 利治 ＜令和2年4月＞ 博士（情報科学）
		データサイエンス入門 IT実習Ⅱ 地域情報PBL入門 地域情報PBL基礎 地域情報PBL 地域情報プロジェクト 統計的モデルを用いたシミュレーション 統計解析 統計データモデリング

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山本 吉伸 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		観光情報学 IT実習Ⅰ 地域情報PBL入門 地域情報PBL基礎 地域情報PBL 地域情報プロジェクト サービスエンジニアリング データ分析と意思決定
専	教授	松山 江里 ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）
		IT実習Ⅲ 地域情報PBL入門 地域情報PBL基礎 地域情報PBL 地域情報プロジェクト 情報学アカデミックスキル 科学技術コミュニケーション データマイニング 画像情報処理
専	教授	倉本 到 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		統計学 IT実習Ⅳ 地域情報PBL入門 地域情報PBL基礎 地域情報PBL 地域情報プロジェクト コンピュータプログラミングⅡ アルゴリズム論 エンタテインメント情報学 ヒューマンインタフェース
専	教授	黄(黄) 宏軒 ＜令和2年4月＞ 博士（情報学）
		IT実習Ⅲ 地域情報PBL入門 地域情報PBL基礎 地域情報PBL 地域情報プロジェクト コンピュータプログラミングⅠ 情報システム 機械学習システム パターン認識と機械学習 自然言語処理
専	准教授	畠中 利治 ＜令和2年4月＞ 博士（情報科学）
		データサイエンス入門 IT実習Ⅱ 地域情報PBL入門 地域情報PBL基礎 地域情報PBL 地域情報プロジェクト 統計的モデルを用いたシミュレーション 統計解析 統計データモデリング

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	崔 童殷 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		多変量解析 IT実習Ⅰ 地域情報PBL入門 地域情報PBL基礎 地域情報PBL 地域情報プロジェクト データ理解 データ解析ツール 基礎データ解析
専	准教授	橋田 光代 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		IT実習Ⅲ 地域情報PBL入門 地域情報PBL基礎 地域情報PBL 地域情報プロジェクト 信号情報処理 メディア情報学 音情報処理
専	准教授	畠中 理英 ＜令和2年4月＞ 博士（情報科学）
		IT実習Ⅱ 地域情報PBL入門 地域情報PBL基礎 地域情報PBL 地域情報プロジェクト 組込みシステム 計算機アーキテクチャ 論理設計 IoT
専	准教授	衣川 昌宏 ＜令和2年4月＞ 博士（情報科学）
		情報リテラシー IT実習Ⅳ 地域情報PBL入門 地域情報PBL基礎 地域情報PBL 地域情報プロジェクト 情報ネットワーク 情報セキュリティ データベースシステム
専	准教授	渡邊 扇之介 ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		線形代数基礎 微分積分基礎 線形代数 微分積分 IT実習Ⅱ 地域情報PBL入門 地域情報PBL基礎 地域情報PBL 地域情報プロジェクト

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	崔 童殷 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		多変量解析 IT実習Ⅰ 地域情報PBL入門 地域情報PBL基礎 地域情報PBL 地域情報プロジェクト データ理解 データ解析ツール 基礎データ解析
専	准教授	橋田 光代 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		IT実習Ⅲ 地域情報PBL入門 地域情報PBL基礎 地域情報PBL 地域情報プロジェクト 信号情報処理 メディア情報学 音情報処理
専	准教授	畠中 理英 ＜令和2年4月＞ 博士（情報科学）
		IT実習Ⅱ 地域情報PBL入門 地域情報PBL基礎 地域情報PBL 地域情報プロジェクト 組込みシステム 計算機アーキテクチャ 論理設計 IoT
専	准教授	衣川 昌宏 ＜令和2年4月＞ 博士（情報科学）
		情報リテラシー IT実習Ⅳ 地域情報PBL入門 地域情報PBL基礎 地域情報PBL 地域情報プロジェクト 情報ネットワーク 情報セキュリティ データベースシステム
専	准教授	渡邊 扇之介 ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		線形代数基礎 微分積分基礎 線形代数 微分積分 IT実習Ⅱ 地域情報PBL入門 地域情報PBL基礎 地域情報PBL 地域情報プロジェクト

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	河合 宏紀 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		IT実習Ⅳ 地域情報PBL入門 地域情報PBL基礎 地域情報PBL 地域情報プロジェクト インターネット パターン認識と機械学習
専	講師	眞鍋 雄貴 ＜令和2年4月＞ 博士（情報科学）
		IT実習Ⅱ 地域情報PBL入門 地域情報PBL基礎 地域情報PBL 地域情報プロジェクト コンピュータプログラミングⅠ コンピュータプログラミングⅡ 品質管理 分散システム
専	講師	藤井 叙人 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		IT実習Ⅳ 地域情報PBL入門 地域情報PBL基礎 地域情報PBL 地域情報プロジェクト オペレーティングシステム グラフ理論 ゲーム情報学
専	講師	前田 一貴 ＜令和2年4月＞ 博士（情報学）
		数学基礎Ⅰ 数学基礎Ⅱ 線形計画法 IT実習Ⅲ 地域情報PBL入門 地域情報PBL基礎 地域情報PBL 地域情報プロジェクト 数値解析
兼任	教授	山田 篤 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		オペレーティングシステム プログラミング言語処理系 グラフ理論 メディア情報学
兼任	教授	谷口 知弘 ＜令和2年4月＞ 工学修士
		地域資源論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	河合 宏紀 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		IT実習Ⅳ 地域情報PBL入門 地域情報PBL基礎 地域情報PBL 地域情報プロジェクト インターネット パターン認識と機械学習
専	講師	眞鍋 雄貴 ＜令和2年4月＞ 博士（情報科学）
		IT実習Ⅱ 地域情報PBL入門 地域情報PBL基礎 地域情報PBL 地域情報プロジェクト コンピュータプログラミングⅠ コンピュータプログラミングⅡ 品質管理 分散システム
専	講師	藤井 叙人 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		IT実習Ⅳ 地域情報PBL入門 地域情報PBL基礎 地域情報PBL 地域情報プロジェクト オペレーティングシステム グラフ理論 ゲーム情報学
専	講師	前田 一貴 ＜令和2年4月＞ 博士（情報学）
		数学基礎Ⅰ 数学基礎Ⅱ 線形計画法 IT実習Ⅲ 地域情報PBL入門 地域情報PBL基礎 地域情報PBL 地域情報プロジェクト 数値解析
兼任	教授	山田 篤 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		オペレーティングシステム プログラミング言語処理系 グラフ理論 メディア情報学
兼任	教授	谷口 知弘 ＜令和2年4月＞ 工学修士
		地域資源論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	渋谷 節子 ＜令和2年4月＞ Ph. D (Anthropology) (米国ハーバード大学)
		EnglishⅢ EnglishⅣ 異文化コミュニケーション 文化人類学
兼任	教授	神谷 達夫 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		経営情報システム論
兼任	教授	中尾 誠二 ＜令和2年4月＞ 博士（農学）
		環境学 観光総論 持続可能な社会論
兼任	教授	鄭 年皓 ＜令和2年4月＞ 博士（商学）
		データマーケティング
兼任	准教授	佐藤 恵 ＜令和2年4月＞ 修士（経営学）
		論理学
兼任	准教授	星 雅文 ＜令和2年4月＞ 修士（保健学）
		地域福祉論※ 社会保障論※
兼任	准教授	加藤 好雄 ＜令和2年4月＞ 博士（経営学）
		経営学入門
兼任	准教授	三好 ゆう ＜令和2年4月＞ 博士（経済学）
		社会保障論※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	渋谷 節子 ＜令和2年4月＞ Ph. D (Anthropology) (米国ハーバード大学)
		English I English II EnglishⅢ EnglishⅣ 異文化コミュニケーション 文化人類学
兼任	教授	神谷 達夫 ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		経営情報システム論
兼任	教授	中尾 誠二 ＜令和2年4月＞ 博士（農学）
		観光総論 持続可能な社会論
兼任	教授	倉田 良樹 ＜令和2年4月＞ 博士（社会学）
		環境学 哲学
兼任	教授	鄭 年皓 ＜令和2年4月＞ 博士（商学）
		データマーケティング
兼任	准教授	佐藤 恵 ＜令和2年4月＞ 修士（経営学）
		論理学
兼任	准教授	星 雅文 ＜令和2年4月＞ 修士（保健学）
		地域福祉論※
兼任	教授	川島 典子 ＜令和2年4月＞ 博士（政策科学）
		社会保障論
兼任	准教授	加藤 好雄 ＜令和2年4月＞ 博士（経営学）
		経営学入門

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	大谷 杏 ＜令和2年4月＞ 博士（教育学）
		English I English II 多文化共生論 国際関係論
兼任	准教授	杉岡 秀紀 ＜令和2年4月＞ 修士（政策科学）
		行政学入門
兼任	助教	佐藤 充 ＜令和2年4月＞ 修士（政策科学）
		地域産業論 社会調査論
兼任	助教	江上 直樹 ＜令和2年4月＞ 修士（教育学）
		教育学
兼任	助教	張 明軍 ＜令和2年4月＞ 経営修士
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ
兼任	講師	平野 真 ＜令和3年9月＞
		地域ベンチャー育成論
兼任	講師	水間 みどり ＜令和3年4月＞
		心理学
兼任	講師	芦田 信之 ＜令和2年4月＞
		生物学 健康学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	大谷 杏 ＜令和2年4月＞ 博士（教育学）
		多文化共生論 国際関係論
兼任	教授	藤島 光雄 ＜令和2年4月＞ 博士（法学）
		行政学入門
兼任	助教	佐藤 充 ＜令和2年4月＞ 修士（政策科学）
		地域産業論 社会調査論
兼任	助教	江上 直樹 ＜令和2年4月＞ 修士（教育学）
		教育学
兼任	助教	張 明軍 ＜令和2年4月＞ 経営修士
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ
兼任	講師	劉 玉萍 ＜令和2年4月＞
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	講師	平野 真 ＜令和3年9月＞
		地域ベンチャー育成論
兼任	講師	水間 みどり ＜令和3年4月＞
		心理学
兼任	講師	芦田 信之 ＜令和2年4月＞
		生物学 健康学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	横山 泰昭 ＜令和3年9月＞
		地域防災論
兼任	講師	長谷川 順子 ＜令和3年4月＞
		EnglishⅢ EnglishⅣ
兼任	講師	西村 正芳 ＜令和2年4月＞
		歴史学
兼任	講師	川井 千枝 ＜令和2年4月＞
		体育実技Ⅰ 体育実技Ⅱ
兼任	講師	八瀬 正雄 ＜令和2年4月＞
		地域文化論
兼任	講師	岡本 匡弘 ＜令和3年4月＞
		地域福祉論※ 社会福祉論
兼任	講師	松本 学博 ＜令和2年9月＞
		地理学
兼任	講師	狭間 芳樹 ＜令和2年9月＞
		哲学
兼任	講師	勝久 晴夫 ＜令和4年4月＞
		IT産業論 知的財産論
兼任	講師	ミューリ真貴子 ＜令和2年4月＞
		EnglishⅠ EnglishⅡ TOEICⅠ TOEICⅡ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	横山 泰昭 ＜令和3年9月＞
		地域防災論
兼任	講師	長谷川 順子 ＜令和3年4月＞
		EnglishⅢ EnglishⅣ
兼任	講師	西村 正芳 ＜令和2年4月＞
		歴史学
兼任	講師	川井 千枝 ＜令和2年4月＞
		体育実技Ⅰ 体育実技Ⅱ
兼任	講師	八瀬 正雄 (55) ＜令和2年4月＞
		地域文化論
兼任	講師	岡本 匡弘 ＜令和3年4月＞
		地域福祉論※ 社会福祉論
兼任	講師	松本 学博 ＜令和2年9月＞
		地理学
兼任	講師	勝久 晴夫 ＜令和4年4月＞
		IT産業論 知的財産論
兼任	講師	ミューリ真貴子 ＜令和2年4月＞
		EnglishⅠ EnglishⅡ TOEICⅠ TOEICⅡ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	妻木 進吾 ＜令和2年4月＞
		人権論
兼任	講師	鈴木 有貴子 ＜令和2年9月＞
		栄養学
兼任	講師	櫻澤 隆哉 ＜令和2年4月＞
		法学概論 日本国憲法 民法 商法
兼任	講師	徐 璐 ＜令和2年4月＞
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	妻木 進吾 ＜令和2年4月＞
		人権論
兼任	講師	鈴木 有貴子 ＜令和2年9月＞
		栄養学
兼任	講師	櫻澤 隆哉 ＜令和2年4月＞
		法学概論 日本国憲法 民法 商法
兼任	講師	徐 璐 ＜令和2年4月＞
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ

- （注） ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・教育的効果を考慮し、大谷杏兼担教授の担当授業科目「English I」「English II」を渋谷節子兼担教授へ変更
- ・教育的効果を考慮し、中尾誠二兼担教授の担当授業科目「環境学」「持続可能な社会論」を倉田良樹兼担教授へ変更
- ・教育内容充実のため、狭間芳樹兼任講師の担当授業科目「哲学」を倉田良樹兼担教授へ変更
- ・教育的効果を考慮し、星雅丈兼担教授と三好ゆう准教授のオムニバス担当による「社会保障論」を川島典子兼担教授による単独担当へ変更
- ・教育的効果を考慮し、杉岡秀紀兼担教授の担当授業科目「行政学入門」を藤島光雄兼担教授へ変更
- ・教育内容充実のため、「中国語 I」「中国語 II」の担当教員に劉玉萍兼任講師追加

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2)－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
14	7
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2)－② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
8	6	4	0	18	0	7	6	4	0	17	0
(7)	(6)	(4)	(0)	(17)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
8	6	4	0	17	0	8	6	4	0	18	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
68	2	2
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{17}{18} = \boxed{94.44} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{2}{17} = \boxed{11.76} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- (3) 専任教員辞任等の理由 **該当なし**
 (3)－① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1													
2													
合 計（D）						後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）				①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3)－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

- (3)－② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
合計（F）					後任補充状況の集計（G）								
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

- (3)－③ 上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計（D）＋（F）					後任補充状況の集計（E）＋（G）								
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (3)－④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)－③合計(D)+(F)}{(2)－②設置時の計画(A)} = \frac{0}{18} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別		担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
合 計						後任補充状況の集計							
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画	
認 可 時 (令和元年)	「メディア情報学」について、実践系科目として実社会に根ざした事例学修を更に充実して実施すること。	遵守事項	別紙の通り、授業計画に体験ワークやメディアコンテンツの事例学習、コミュニケーションゲームの実践といった要素を加え、実践系科目として充実した内容となるよう、シラバスを改訂した。	「メディア情報学」は今年度後期開講科目であるため、実施は本報告書の提出後である。改訂したシラバスの授業計画に沿って実施していく。
認 可 時 (令和元年)	「情報ネットワーク」について、実践系科目に位置付けるのであれば、実社会に根ざした事例学修を更に充実して実施するか、「基盤系科目」に位置付けること。	遵守事項	別紙の通り、授業計画に各回の内容に応じた実践演習を加え、実践系科目として充実した内容となるよう、シラバスを改訂した。	「情報ネットワーク」は今年度後期開講科目であるため、実施は本報告書の提出後である。改訂したシラバスの授業計画に沿って実施していく。
認 可 時 (令和元年)	IT実習Ⅰ～Ⅳのシラバスについて、設置の趣旨に示した実習の「テーマや内容」を適切に反映させること。	遵守事項	別紙の通り、各科目のシラバスの「到達目標」に反映させた。また「学期開始前のオリエンテーションでより詳細な資料を配布の上説明する」ことを記載し、実習の具体的な内容が学生に十分に伝わるように企図した。この記載の通り、今年度前期開講の「IT実習Ⅰ」については既に新入生オリエンテーションにおいて資料を配布のうえ授業計画の詳細を説明した。なお、今年度の前期は新型コロナウイルスへの対応のため授業回数を13回へと減らしての実施となるが、授業時間外の教員によるサポートを強化することで必要な水準の学習がなされるよう努める。	「IT実習Ⅰ」は学生へ説明した計画通りに実施していく。「IT実習Ⅱ～Ⅳ」についても、今後のオリエンテーションの際に十分な説明を行い、実施していく。
認 可 時 (令和元年)	「学生アシスタント」を配置する際には、求めるスキルや役割をあらかじめ明示し、ガイダンスを実施するなど、授業の実施に支障が生じないよう努めること。	遵守事項	現時点では1年生しか在籍していないため学生アシスタントの採用はないが、今後実際に学生アシスタントを配置するまでに具体的な役割と採用基準を定め、採用後にガイダンスを実施する方針である。	左記の方針に基づき、遅くとも来年度中には具体的な採用基準やガイダンスの内容を定め、採用をはじめ
認 可 時 (令和元年)	「学生アシスタント」が確保できない場合は、必要に応じて助手や技術職員などの教育補助者を配置することが望ましい。	助言事項	はじめの2年間については専任教員担当の開講科目数が少ないため、専任教員がアシスタントとなる計画である。3年目以降については学生アシスタントの確保に努めることとするが、教育補助者の雇用・配置について今後検討していく。	左記の方針の通り、検討を進めていく。

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<情報学部 情報学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
各科目については、半期で15週（15回）の授業を実施を実施することを基本としている。	新型コロナウイルスの影響により、令和2年度の前学期は、5月より遠隔授業を開始したために、学事日程を変更して13週（13回）の授業を実施することを基本として、教育内容の保持に努め、教育の質を担保している。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

本学情報学部は令和2年4月1日付けで設置された。本学の委員会組織は全学で一つの構成としている。FD委員会は地域経営学部、情報学部の学部長2名と両学部より各1名の委員の4名で構成される。情報学部については、令和2年4月8日開催の情報学部教授会で承認された。

SDについては、FDとは別に法人の下にSD委員会が設けられ、教員も参加して実施するSD研修は令和2年度は、4回開催する予定である。情報セキュリティ、ハラスメント、研究費不正防止関係、IR等の研修に重点を置き、教員の資質の維持向上に努める計画となっている。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

FD委員会は例年は、年間6回程度の委員会の開催しており、令和2年度も年間6回程度の開催を計画している。SD委員会については、年に5回程度の開催を計画している。

c 委員会の審議事項等

FD委員会の審議事項としては、FD活動の計画立案、FD活動の実施計画の立案、FD活動の評価、FD活動に関する情報の収集と提供を行うこととしている。また、SD委員会の審議事項としては、SD活動の企画立案、SD活動の実施計画の立案、SD活動の評価、SD活動に関する情報の収集と提供、としている。

② 実施状況

a 実施内容

- 「遠隔授業における本学の準備状況」をテーマに令和2年4月22日に、コロナウィルス問題で遠隔授業での前学期授業の実施の具体化が進められる中で、全教員が遠隔授業に取り組む際に心がけることや経験談、法的な根拠などを取り上げて遠隔授業の実施に備えた。

その他の内容

- SDについては、教員と職員の参加するものは情報セキュリティ、ハラスメント、研究費不正防止関係、IR等の研修に重点を置き、教員の能力向上につながる研修を計画しており、職員だけの研修では情報公開、業務効率の向上に繋がる研修に重点を置くとともに職員からの要望にも応えて研修内容を計画していく。

b 実施方法

第1回目は遠隔授業に関することをテーマとしたために、Zoomを用いた遠隔会議方式を主とし、当日の会場における参加者は少数であった。今後は実際に集合し、テーマについて討論も行うことによってより効果的な実施方法を主として行う予定である。

SDについては、教員と職員が一緒に取り組むものを年4回、職員だけで取り組むものを年8回計画し、決して職員だけではなく、テーマに即して教員と職員の壁を越えた形で研修を計画し、充実を目指している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

令和2年4月22日に開催した第1回目の研修には、専任教員の97%に当たる38名が参加し、非常勤教員も十数名の参加が見られた。今年度は4月開催のものも含め、FD研修を6回程度開催し、授業内容と方法の改善に努める計画である。次に5月27日に研究費不正に関するテーマでのFD研修を予定している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

現段階では、研修は1度実施しただけであり、コロナウィルスの影響により5月7日から授業を開始しており、改善は授業開始以後働きかけるとともに結果をまとめる計画である。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前学期は7月、後学期は1月に全ての授業に対して、学生に対する授業評価アンケートを実施する予定である。その中で授業評価アンケートの回答者が10人以上の授業科目を担当する専任教員に対しては、リフレクションペーパーの提出を義務付け、受講学生の要望や質問に真摯に答えている。

b 教員や学生への公開状況、方法等

前学期は7月、後学期は1月に実施する授業評価アンケートを各学期のうちに集計し、学生には集計結果を公開している。教員に対しては、集計結果だけでなく、個別の授業科目の評価結果や自由記述もフィードバックし、授業内容と方法の改善と質の向上に努めている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

福知山公立大学の基本理念は、「市民の大学、地域のための大学、世界とともに歩む大学」であり、その理念の下に情報学部は情報学の体系・知識・知見・技術を学び、それらを用いて地域の価値向上や持続可能な社会の形成に寄与し、情報技術を開発・提供・応用・活用する多様な分野で活躍できる人財の育成を目的として開設された。

情報学部の開設初年度である令和2年度は108名の新生を受け入れ、1年生からゼミに所属し、課題解決に取り組むことで、コロナウイルス問題で前学期は全ての授業を遠隔授業で実施するという状況の中で、開設にあたって掲げた人財育成の目的に向かって進んでいる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

先に平成28年度に自己点検評価報告書を作成し、公表した。その後は毎年度作成・公開している業務実績書を自己点検・評価報告書の一形態として位置付け、令和元年度は平成30年度の年度実績を6月末に公表し、令和元年度の年度実績は令和2年6月末に公表する計画である。

b 公表方法

・大学ホームページ上での公開をしている。

③ 認証評価を受ける計画

・令和2年度中に次に受審する評価機関及び年度を最終決定する計画である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ☒ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [☒ ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

